

学校教育目標	「大好き 帷子 輝く 笑顔」 ○自ら進んで学び、表現する子を育てます。【知】 ○互いに信頼し合って生きる子を育てます。【徳】 ○心も体も健康になる子を育てます。【体】 ○帷子を愛し、帷子の未来を創る子を育てます。【公】 ○どんな人とも豊かなコミュニケーションができる子を育てます。【開】					
	学校概要	創立 112 周年	学校長 齋藤 容二	副校長 宮村 俊	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 296 人	主な関係校: 峯小学校、宮田中学校、岩崎中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	宮田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 コミュニケーションの力 自立心 社会生活への関わり	宮田中学校 峯小学校 帷子小学校	「心身ともにたくましく生きる力」 ・中学校ブロック学校運営協議会の開催、運営 ・小中合同研修を通しての相互理解 ・児童生徒指導、特別支援教育の充実、推進、情報共有

中期取組目標	○指導技術の向上、学習スタンダードの徹底等を行い、児童の基礎的学力の向上を目指すとともに、児童自らが課題を見付け、主体的に取り組む力を育てるための共同研究を行います。 ○人権尊重教育、道徳教育の充実や、児童理解・特別支援教育の推進、学習や特別活動における場の工夫等を行い、児童が安心し、互いのよさを理解し合い、より多くの人とよりよい関係を築くことができるよう、教職員のチーム力を高めます。 ○児童自らが自分の心と体を知り、目標をもって体力の向上や心身の健康が保てるよう、取組を工夫します。 ○学校や友達、地域の状況を知り、地域の材を学習に生かし、児童自らが地域にかかわり、地域とともに歩む力を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	・学習のスタンダード、ユニバーサルデザインの共有、定着の徹底を図る。 ・児童自らが課題を見付け、主体的に探究していく学習の在り方を推進するために研修、実践を継続する。 ・資質能力育成を明確にし、地域の教育力を生かした学習を進め、表現する力も育てる。
徳 人権教育	・人権尊重を基盤とした教職員の意識の醸成、道徳教育の授業改善等のための研修、実践を継続する。 ・たてわり活動の継続、内容・方法の改善を図り、児童が他の人と関わる力を育てる。 ・YPを活用し、多様性を認め合い、共に生活する意識の醸成、行動力の育成を図る。
体 健康教育	・新体力テスト、怪我・健康状況把握を基に、児童自らが健康の保持向上の目当てをもった取組とする。 ・養護教諭も含め保健学習の充実へ努め、系統的、継続的な学びを計画的に行う。 ・食育の区一斉研に合わせ、家庭の協力を仰ぎながら食育の充実、児童の主体的取組を促す。
公 開 多文化共生	・外国籍、外国につながる児童のアイデンティティ確立、及び日本の児童にとっての他者理解を推進する。 ・多文化共生に関わる活動、学習について整理し、計画的な活動、取組による共生意識の醸成を図る。 ・教職員自らが保護者、地域の状況を理解し、情報発信や他機関との連携を積極的に行う。
いじめへの対応	・教職員のいじめに対する認識を深めるための、研修、情報共有を継続して行う。 ・未然防止、素早く確実な対応のために、見とり、確認等でのチーム対応、情報共有等、継続して行う。 ・アンケート、YP等継続して行うとともに、児童自らがいじめをなくすために行動する力が付くよう取り組む。
人材育成・ 組織運営(働き方)	・学級担任だけの指導にならないよう、級外教員も含め学年の実態に応じてチーム経営を推進する。 ・児童理解、教科指導力の向上等、主幹教諭を中心に横断的な情報共有、改善案共有を積極的に図る。 ・会議の内容、方法の改善、目的論に則った行事の見直し等を継続して行い、効率化を目指す。
特別支援教育	・コーディネーター、専任、国際教室との連携を教化し、見とり、共有を丁寧に行い、チーム対応する。 ・取り出し指導、入り込み支援等、学級担任との連携の中、計画的、継続的に行う。 ・教職員の知見を高めるため、研修や継続的な啓発、情報発信を行う。
情報教育	・タブレット端末の活用の在り方について、具体的な取組実践について継続して情報を共有し全体化を図る。 ・情報端末の使用ルール、モラルの理解、マナーの向上のための研修を継続し、自律的効率的学びをつくる。 ・プログラミング教育を系統的に取り組めるよう、教育課程への位置付けを明確にして取り組む。
地域学校協働事業	・宮田中学校ブロック学校運営協議会を活用し、各校の特徴を生かしつつ、個別、共通の課題解決を図る。 ・幼保小連携、小中合同研修等を継続して行い、幼保小中で目指す子どもの姿の達成を目指す。 ・地域、保護者の意見を積極的に生かす場、機会をもち、地域全体で児童を育てる。
安全防災教育	・防災、減災を目指し、定期的、計画的な訓練を行うとともに、児童の主体的行動姿勢を育てる。 ・地域の状況を確認、地域での防災の在り方を学習として積極的に考え、自分たちの取組を改善する。 ・地域防災拠点の在り方を理解し、教職員、児童皆が地域の中での防災、避難、生活について理解する。